

マップ作成の背景と公表の目的

近年の大地震では、谷や沢、傾斜地を大規模に埋めた造成地(大規模盛土造成地)で、滑動崩落(下記イラスト参照)という現象が起き、宅地や道路などに大きな被害が生じています。

この滑動崩落の未然防止や被害軽減のために、調査の方法を示したガイドラインを国が策定しています。

このマップは、久留米市がガイドラインに基づいて実施した調査の結果であり、大規模盛土造成地の概ねの位置や範囲を示すものです。**(危険性を表すものではありません。)**

お住まいの近くの大規模盛土造成地を確認していただき、防災情報の一つとしてご活用ください。

大規模盛土造成地および滑動崩落とは？

大規模盛土造成地には下記の2種類があり、いずれも、地震時に盛土が動いたり崩れたりする可能性がある造成地です。

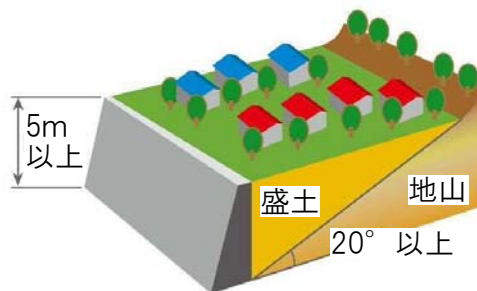
(1)谷埋め型

谷や沢を埋めた、盛土面積が3,000㎡以上の盛土。



(2)腹付け型

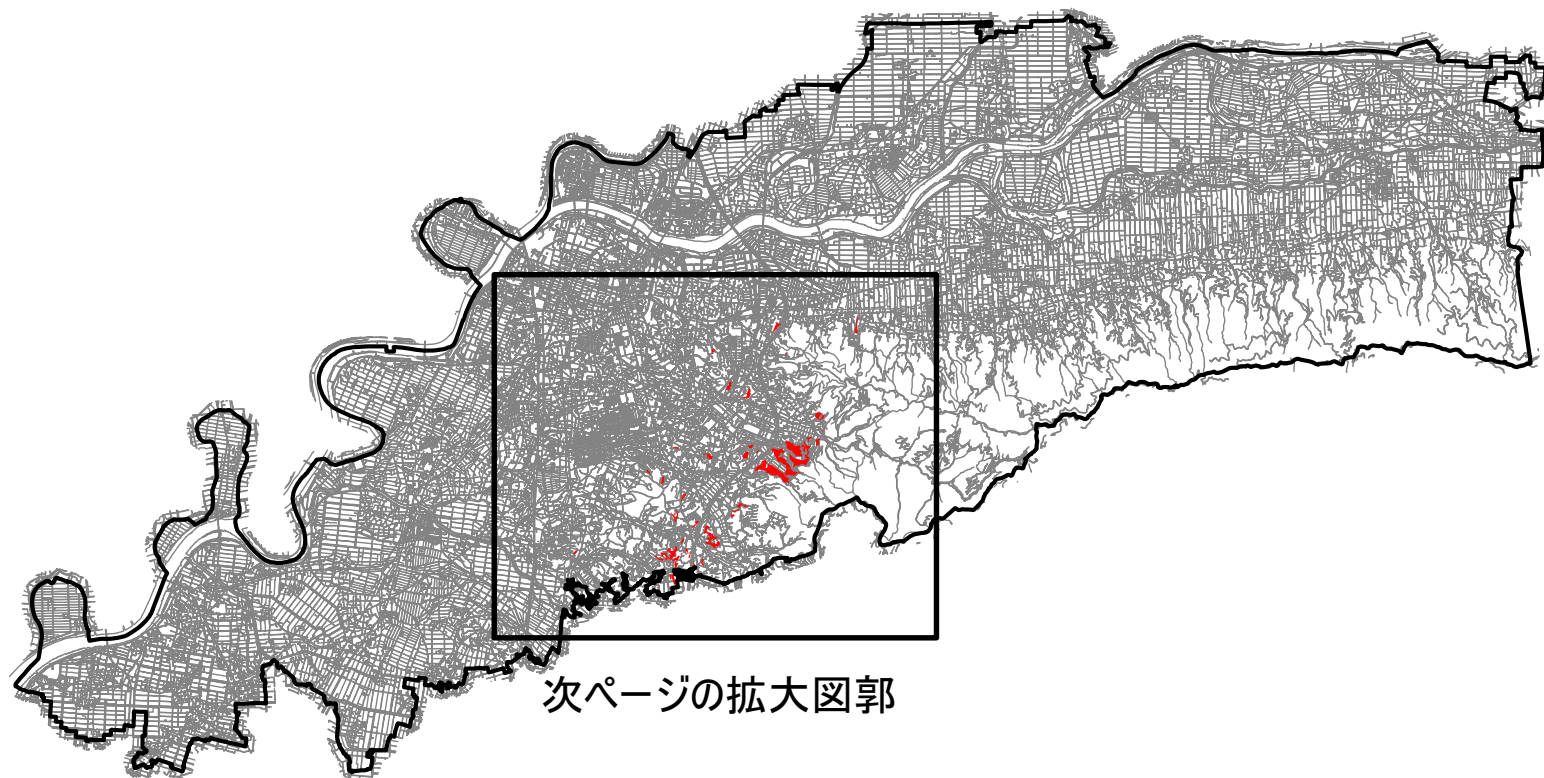
傾斜地に盛土した、造成前の地盤の傾斜が20度以上かつ盛土高さが5m以上の盛土。



(画像はいずれもガイドライン)

このマップの問合せ先と、宅地防災に関するホームページ

▼このマップの問合せ先
都市建設部 建築指導課
〒830-8520 久留米市城南町15-3
電話番号:0942-30-9343 FAX番号:0942-30-9743
電子メール:kensi@city.kurume.fukuoka.jp



大規模盛土造成地マップ

2019(R1)年度 久留米市作成

全体図

大規模盛土造成地

注)ガイドラインにもとづき、埋立地や平坦地等の住宅市街地は調査対象としていません。

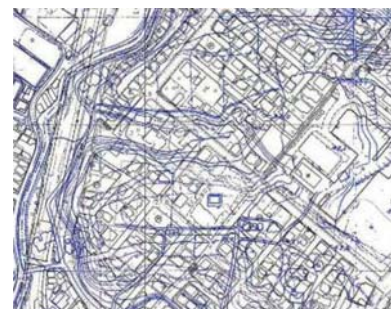
このマップの作成方法

A. 造成前の標高(等高線)を、古地図等から再現



+

B. Aを現在の標高と重ね合わせ、切土か盛土かを判定
・切土は、前標高＞現標高
・盛土は、前標高＜現標高



注)現在の標高は、5m間隔で公表されている国土地理院の数値標高モデルを活用(上図は現況地形図)

↓

C. Bの判定による盛土のうち、面積や高さ等の定義に該当するものを大規模盛土造成地として抽出



(画像はいずれもガイドライン)



1:160,000
<A3>

0 1 2 4
km

このマップは大規模盛土造成地の概ねの位置や範囲を示すもので、そこが地震の時に危険かどうかまでを示すものではありません。お住まいの地域の防災情報の一つとしてご活用ください。